

日本結合組織学会 (JSMBM) Young Investigator Award 受賞者

() 内は受賞時の所属

- 平成 27 年度
- 本田 祐一郎 (長崎大学病院 リハビリテーション部)
【YF06】不動に伴う骨格筋の伸張性の変化と線維化関連分子の動態変化の関連性
 - 須藤 涼 (星薬科大学 組織再生学)
【YF08】Latent TGF- β binding protein 1 が fibrillin-1 線維形成に与える影響
 - 小林 慎一郎 (長崎大学 移植・消化器外科)
【YF28】他家表皮細胞シートを用いたブタ食道粘膜広範囲欠損における食道粘膜再生と食道狭窄の解析
 - 千々岩 みゆき (慶應義塾大学医学部 病理学)
【V-1】CCN1 (Cyr61) はヒト変形性関節症 (OA) 関節軟骨で過剰発現し ADAMTS4 (アグリカナーゼ) 活性を阻害する
 - 下田 将之 (慶應義塾大学医学部 病理学)
【V-2】潰瘍性大腸炎における ADAM17 (a disintegrin and metalloproteinase -17) の機能解析
 - 佐藤 涼子 (大阪大学蛋白質研究所 細胞外マトリックス研究室)
【VII-4】コラーゲン結合活性を付加したラミニンフラグメントの作製：コラーゲン基質にラミニン様細胞接着活性を与えるツールの開発
- 平成 28 年度
- 市瀬 慎一郎 (早稲田大学先進理工学研究科 化学・生命化学専攻)
【YF02】コラーゲンを模倣した合成ペプチドゲルの開発とその利用
 - 鈴木 喜晴 (東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科)
【A2-3】Teneurin-4 による中枢神経系の髄鞘形成機構と筋衛星細胞の未分化維持制御
 - 橋本 恵 (お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科)
【YF11】テネイシン X 欠損による創傷治癒メカニズムの活性化 ～コラーゲンゲル収縮に着目して～
 - 原島 望 (東京薬科大学 病態生化学教室)
【B2-1】ROCK 経路を介したラミニン-511 に対する細胞接着の抑制と細胞運動の促進
 - 山下 由莉 (順天堂大学 老化・疾患生態制御学)
【B2-6】Perlecan がもたらす脂肪組織の代謝ダイナミクス
 - 山城 義人 (筑波大学 TARA センター)
【A3-3】上行大動脈瘤におけるメカニカルストレス応答因子の解析
- 平成 29 年度
- 五十嵐 敦 (東海大学大学院工学研究科)
【A11】人工真皮への応用を指向したコラーゲンナノシートの創製と機能評価
 - 折本 愛 (東北大学歯学部 歯科保存学分野)
【WS1-5】ADAMTS superfamily による Marfan 症候群の解離性大動脈瘤発症機構の解析
 - 工藤 睦子 (東京理科大学薬学部分子病態学教室)
【A04】テネイシン C 由来インテグリン活性化ペプチドによる神経膠芽腫の悪性化進展およびそれに基づく新規治療法の提案

- 菅原 京加 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻)
 - 【A02】マウス神経芽腫細胞株 Neuro2a の極性決定におけるビトロネクチンの役割
- 柳川 享世 (東海大学大学院医学研究科 マトリックス医学生物学センター)
 - 【WS5-5】線維肝の修復と再生を司る分子機構
- 吉村 祐輔 (順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター)
 - 【WS4-1】脱細胞脳組織におけるニューロスフィア培養-細胞外マトリックスが加齢性の神経新生減弱に果たす役割の解明を目指して
- 平成 30 年度 ●大野 竜暉 (順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター)
 - 【B3-6】脱細胞脳組織を用いた 3 次元神経新生モデルの最適化
- 杉山 夏緒里 (筑波大学 TARA センターグローバル教育ヒューマンバイオロジー学位プログラム)
 - 【P-07】ラベルフリー・ラマンイメージング法による大動脈疾患モデルマウスの弾性線維解析
- 瀧沢 士 (大阪大学蛋白質研究所マトリクソーム科学 (ニッピ) 寄付研究部門)
 - 【B1-2】a6b1 インテグリンによるラミニン-511 の認識機構
- 瀧田 講 (早稲田大学大学院先進理工学研究科化学・生命科学専攻)
 - 【A4-6】変性コラーゲンに結合する環状ペプチドの開発と *in vivo* への応用
- 中村 晋之 (米国国立歯科・頭蓋顔面研究所、九州大学大学院医学研究院病態機能内科学)
 - 【A3-3】細胞外マトリックス蛋白 Perlecan は脳梗塞後のペリサイトの遊走を促進し、血液脳関門の修復に関与する
- 藤原 稔史 (九州大学整形外科)
 - 【WS-4】破骨細胞において PLEKHM1-DEF8-RAB7 複合体はライソゾームの分泌と骨代謝を制御する。